

兵庫県のり漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 5号)

窒素はこの海域東部で5~6 $\mu\text{g at / L}$ 台、中央部以西で概ね4~5 $\mu\text{g at / L}$ 台の値となっており、ほぼ平年並の状況にあります。海域中央部以西においてコシノディスカスが散見されており、前回(11/30)調査では見られなかった群体を形成し肉眼視サイズとなる珪藻も確認されます。今のところすぐに問題となる発生量ではありませんがその動向が注視されます。

(水温) 漁場平均16.4℃。平年・昨年比ともに高い状況ではあるが降下は見られている。

(塩分) 平均32.03psu。ほぼ前回(32.10psu)並。

(栄養塩、珪藻) この海域中央~西部域にかけて、多くはないがコシノディスカスが散見(1Lあたり40~80細胞)され、群体を形成する珪藻(カシオラの一種。淡黄色の油玉状に見える)が一部調査地点ではやや多く見られた。潮時もあり大阪湾から流入する海水の影響を受けていた東部域においては、これら珪藻は少ない状況であった。珪藻が大型であることや、播磨灘北西部周辺域でも同種同様の発生状況にあることから今後の海況には注意が必要。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.1	16.4	15.2	16.0
窒素	7.3	5.1	5.0	5.6
リン	0.69	0.60	0.63	0.58

(11/30) (12/14)

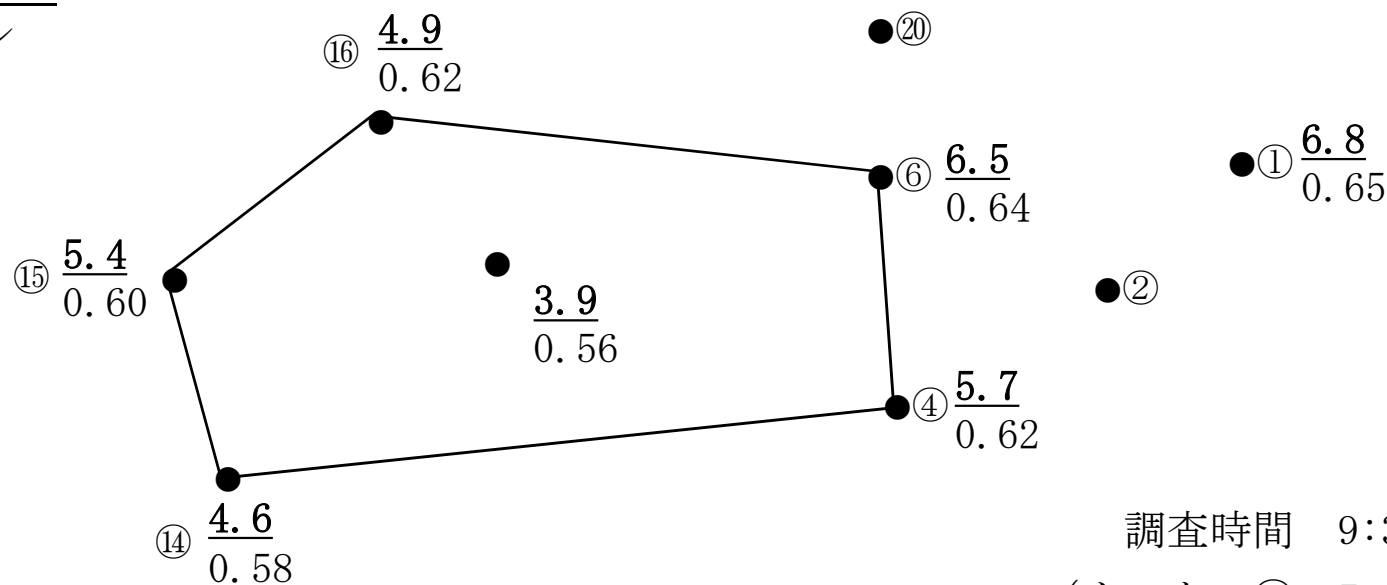
平成28年12月12日調査

栄養塩図

潮：満潮

窒素

リン



調査時間 9:32~10:17

(カンタマ① 7:36上げ潮)

水温・塩分図

水温

塩分

